



看護学専攻の

Q & A Student's

在校生が答えます

最後まで目標に向かって
頑張り続けたその先に、
素敵な未来がきつと待っています。



2016年入学
●出身高校/
札幌東高校

太田 有香
Ota Yuka

Q1 & A 保健学科を志望した理由はなんですか？

小学生の頃、私が入院して不安だった時に看護師さんが優しくそばにいてくれました。その経験から、けがや病気で苦しむ人の力になれるような仕事がしたい、と考えるようになりました。医療職の中でも最も患者さんと近い距離で関わり、心に寄り添える看護師という仕事に憧れて、看護学専攻を志望しました。

Q2 & A どのような受験勉強をしてきましたか？

看護学専攻を受けると決めた時は、到底合格には届かない成績であり、また勉強をする習慣もありませんでした。数十分でも毎日勉強をする習慣をつけるようにして、各科目、問題集1冊を完璧にできるようになるまで何周も解きました。その後は北大の過去問を解き、入試問題の傾向を把握し、対策をしていきました。

Q3 & A 実際に入学してみてどうですか？

北大は1年生の時には学部混合のクラスがあり、色々な学部の人と繋がることができます。また、看護学専攻は課題や実習があって大変なところもありますが、友人と励ましあいながら日々頑張っています。苦勞した実習を乗り越えた時の達成感は大変大きく、日々充実した大学生活を送っています。

Q4 & A 受験生の皆さんにメッセージをお願いします。

受験に対するプレッシャーや不安で逃げ出したくなる時もあると思います。そんな時に「私は絶対に北大に合格する！」という強い気持ちで勉強し続けることができるかどうかで勝敗が分かれます。合格するためにはどのような勉強をしなければならないのか、自己分析しながら勉強していくことが大切だと思います。



授業紹介

専門科目の一部を紹介します

生活援助看護技術Ⅰ・Ⅱ

看護師の手を通して実践される看護技術について、科学的根拠を基盤として、各学生が技術実践できることを目指して展開しています。学生間の技術練習を通して、技術を習得する楽しさを体感しながら学んでいます。

成人看護学援助論Ⅰ・Ⅲ

がんや糖尿病など、長期的に病気とつき合っていくかなくてはならない方への看護について学びます。病気とともに生きるとはどういうことなのか、看護ができることを様々な角度から考えていきます。

精神看護学援助論

こころの健康に対する支援方法の基礎的知識と技術を学びます。また、支援を受けている方々とのディスカッションや地域で先駆的な支援活動をしている方々による体験的授業を通して、当事者の視点を反映した、より実践的な支援のあり方を学びます。

母性看護学援助論Ⅰ

女性の生涯にわたる健康、具体的には、思春期、成熟期、更年期などのライフステージ各期の特徴と、起こりうる健康問題についての知識を深めます。さらに、女性だけでなく家族も含めた看護について考えていきます。

地域生活支援技術論

私たちが豊かな生活を送るには、健康であることが重要です。本科目は看護の対象を“地域で暮らす人々”とし、対象者にとってのより良い健康と生活について、ヘルスプロモーションの観点から学習します。また、健康教育の方法を演習を通して学びます。